



## 事業集約のため好調デジタルプリント事業休止

ウール・合織・複合織物並びにニットの染色整理加工業。2002年に新規参入事業として開始したデジタルプリント事業は好調に推移していたが基幹業務である染色整理事業が低迷。改めて基幹業務へ業務集約を行うこととなったためデジタルプリント事業は5年の事業期間を経て2006年に休止となった。

### 業況等の動向について

#### 異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

参加したセミナーで同業であるセーレン(本社:福井市、繊維染色業)の社長の話を聞く機会がありその話の中で、染色事業割合100%からの脱却、デジタルプリント事業についての将来性、を耳にしたことがきっかけである。

デジタルプリントについて、既存のプリンターへ布を通し試験を行ったところプリント自身は成功したが、水分が付くと滲むなどの症状が出るのが判明。しかし自社の染色技術を活用すれば鮮明でかつ滲むことのないプリントが可能であると確信し、デジタルプリント事業への参入を決意した。平行してプリンター自身の改良も検討し、社内でのプリント試験に使用していたプリンターの製造元であるエプソン(本社:長野県諏訪市)へ事業を説明し、プリンター改良を持ちかけたが製品化には結びつかなかったことも自社でデジタルプリントが可能なプリンターを選定するきっかけになった。

#### 参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

成果として挙げられるのはプリンターの独自開発などで普段交流のない異業種(機械メーカー等)の人脈が増えたことである。一方非常に困難であったことは社内の意識改革である。新規事業参入に慎重であった社員に新事業展開の重要性を説明し、理解をした上で同じ方向性(目標)を持って事業を進めていけるようになるまでには長い時間と根気が必要であった。

#### 業況等について

業況はやや不調で現在の売上高はピーク時の約3分の1にあたる500,000千円にまで落ち込んでいる。その現状を踏まえ愛知県中小企業再生支援協議会へ事業存続の相談へ出向き、現在は5ヵ年計画を策定中である。新規参入事業は事業開始以降好調に推移していたが基幹業務へ事業を集約するため5年前の2006年に完全休止とし現在は事業を行っていない。

#### 今後の展望・見通し

新規参入したデジタルプリント事業は5年前の2006年に事業を休止し、現在も休止したままである。事業開始後5年間で総売上高(当時)の約10%にあたる7~80,000千円を

売上げる事業に成長したものの基幹業務である染色整理事業の業績悪化が著しいため、事業集約のひとつとして新規参入事業であるデジタルプリント事業の休止が行われている。なお、2011年10月時点でデジタルプリント事業再開の予定はたっていない。

#### メリット・デメリット

時間はかかったものの社員が新しい事業の必要性を認識するようになった意識の変化は新規参入事業の成功・失敗に関らず最大のメリットと考えている。また新規参入においてデメリットと考えられるものは存在しなかった。

#### 異業種参入時のアドバイス

自社が対応可能な範囲で展開を考えることが大切。

### 行政の支援について

**異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度**  
事業資金支援のための助成金

#### 異業種参入に際し、行政に対して望む支援

助成金申請を簡略化して欲しい。具体的に言えば多量に準備しなくてはならない申請書類の量を少なくし申請自身に対する壁を低くすることが大切であると感じている。

また事業資金融資における保証人の数を1人へ統一して欲しい。現在、新規融資に関しては保証人が1人でも許可されるが、過去から継続している融資契約に関しては原契約の条件が引き継がれており契約更新時に保証人数が複数(2人)必要となったままである。中小企業にとっては保証人を複数準備することは非常に困難(保証人自身が高齢化してきており更新時に亡くなっている場合もある)であり、結果として融資を継続して受けられない事態に陥っている企業も多い現状を理解して欲しい。

#### 会社概要

設立:1952年3月18日

資本金:31,448,000円

従業員数:40名

URL:<http://www.mizuhokogyo.co.jp>